

令和2年度12月補正予算の概要

12月定例会記者発表資料

令和2年11月26日(木)

1. 補正予算規模

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	22,801,438	275,619	23,077,057
国民健康保険事業特別会計	3,296,955	16,804	3,313,759
介護保険特別会計(保険事業勘定)	2,787,216	95,508	2,882,724
介護保険特別会計(サービス事業勘定)	53,648	1,307	54,955
後期高齢者医療特別会計	554,575	▲1,553	553,022

2. 主な事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

(単位：千円)

事業名	補正予算額 <small>カッコ内は特定財源</small>	内容	担当
【新規】 アシタのたかはま研究事業 (宅配ボックス導入支援事業費補助金)	1,000 国庫支出金 1,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、人と接触する機会のある現地での買い物避け、配達等を利用する方が増加している中、新型コロナウイルス感染症対策として、人と人との接触機会を減らし、再配達率が減少することによる二酸化炭素の排出抑制及び配達員と市民の感染リスク軽減を図るもの。	総合政策グループ
【新規】 小・中学校維持管理事業 (小・中学校手洗い場自動水洗化工事)	24,124 国庫支出金 24,124	国の地方創生臨時交付金を活用し、学校の手洗い場の水洗を自動化することにより、学校生活を通じた子どもたちの接触感染を防ぎ、児童生徒が安心した学校生活を送れるようにするもの。	学校経営グループ

(2) その他

(単位：千円)

事業名	補正予算額 <small>カッコ内は特定財源</small>	内容	担当
【継続】 ICT推進事業 (RPA導入業務委託)	4,950	複雑かつ高度化する市民ニーズに対応するためには定型業務の合理化は必要不可欠であり、ICTを活用した定型業務の自動化が一つの解決策として注目される中、定型業務自動化の代表格であるRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)技術を導入し、すべての職員が関係する財務に関する業務の合理化を図るもの。	ICT推進グループ
【新規】 小学校維持管理事業 (港小学校校舎増築工事等)	145,321 国庫支出金 34,000 地方債 83,400	特別支援学級児童数の増加による特別支援教室の不足を解消すること及び多目的教室と通級指導教室の不足を解消するため、特別教室(少人数指導教室2教室、通級指導教室1教室)及び多目的教室を含めた4教室を校舎西側の渡り廊下南側に軽量鉄骨造2階建てで増築するもの。	学校経営グループ

3. 基金

(単位：円)

名称	補正前残高	補正額	補正後残高
財政調整基金	1,481,837,417	153,144,429	1,634,981,846